SOUND MAGIC
Audio Rack & Speaker Stand Specialist

オーディオラック AV200 取扱説明書

このたびは、オーディオラック　AV200をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

⚠ **警告**	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。	**（してはいけない禁止内容）**
⃠	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。	**(実行すべき強制内容）**
❗	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。	**（気をつける内容）**

⚠ 警告

⃠
- 分解・改造や修理は絶対しないでください。変形や破損、転倒などを引き起こす原因になります。
- 本製品の組み立て時は、小さなお子様やペットが近づかないよう注意して下さい。
- 取り付けは、製品重量に耐える場所で、本取扱説明書に従って設置して下さい。

⚠
- この製品は非防水です。浴室や屋外のなどの湿気・水気の多い場所での使用はできません。
- 床に傾斜や落差のある不安定な場所では使用しないで下さい。
- 設置の際は本体が水平になるように調整して下さい。
- 直射日光やストーブなどの熱が直接当たる場所や湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けて下さい。
- 乱暴な取り扱いや用途以外の使用はしないで下さい。
- 商品の上に乗ったり、腰掛けたりしないで下さい。
- 小さなお子さんをラックの上に乗せたりして、遊ばせないで下さい。
- 天板や棚板からはみ出して機器を置かないで下さい。
- 使用中にガタツキが出てきたら、各部のネジを締め直して下さい。
- アンプを収納する場合、上部に 2cm 程度の隙間を取るようにして下さい。又重い物は下段に置いて下さい。
- 天板や棚板の上に熱いコーヒカップやポットを置かないで下さい。
- キャスターを使用する時は、すべりの良いフローリングや、起毛のない絨毯の場合は、一箇所に集中して負担が掛からない様に、一番下の支柱を持ち、手間にゆっくり引いて移動して下さい。特にラックに総重量が **50kg** を超える機器を設置された場合は、特に注意して下さい。起毛のあるじゅうたんや、畳等の弾力性のある場所では、大人二人がかりでラックを持ち上げて移動して下さい。一部の機器を下ろして **30kg** 以下の重量に減らしてから移動して下さい。プラスチック脚使用の場合も、上記と同様のお取り扱いをお願いします。

2　組立方法

部品表や外観図は、４ページを参照して下さい。組み上げ開始前に、必ず部品の員数の確認をお願いします。

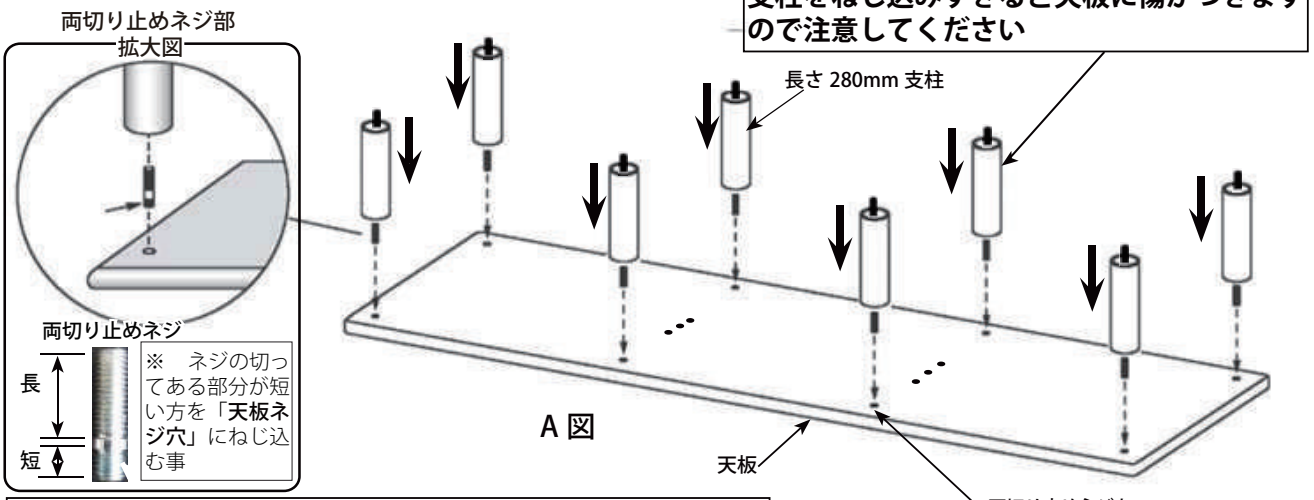
⚠注意　支柱を取り付ける際には、**最初仮止めのために緩く締めておき、全段の支柱が組み上がってから各段の支柱をきっちりと締めこんでください。**支柱を初めからしっかり組み付けると、すべての支柱を組みつけられなくなることがあります。また、最後に全段を締めなおす時も、強くねじ込み過ぎると棚板を損傷することありますので**強く締めすぎないよう**注意して組み立ててください。

（1）天板に傷を付けない為に、上下を逆にして、柔らかい布等の上に置きます。

（2）両切り止めネジを、A 図のように天板の４隅と、中央部４箇所の合計８箇所に、それぞれ手で 3 回程度ねじ込みます。この時、両切り止めネジの上下に切ってあるネジのネジ山の短い方を天板側に向けてねじ込みます。
誤ってネジ山の長い方を天板側にすると、天板表面が隆起して破損しますのでご注意下さい。

（3）長さ 280mm の支柱を、先に取り付けた両切り止めネジに、順番に８本軽く止まる程度のところまでねじ込みます。
この時、強くねじ込みすぎると天板を破損しますのでご注意下さい。

❗注意
支柱をねじ込みすぎると天板に傷がつきますので注意してください



❗注意　天板にネジ部の長い方をねじ込むと**天板を損傷しますので、特に注意してください**

センタースピーカーを設置する場合

※棚の間にセンタースピーカーを設置されない場合は、次の（5）項に進んで下さい。

※AV シリーズはセンタースピーカー用に前列中央の支柱の位置を後ろ側にずらせる構造になっています。

（4）天板についている前列中央の支柱用ネジ穴は、先端の支柱用ネジ穴とは別に 2 箇所にネジ穴が開いてます。センタースピーカーを棚の間に設置される場合は、B 図のように、前項（3）で取り付けた 中央部の支柱を、中央方向のネジ穴に移動させて下さい。設置するセンタースピーカーの大きさや、スピーカーの取り付け位置等から最適な穴位置を選択してください。

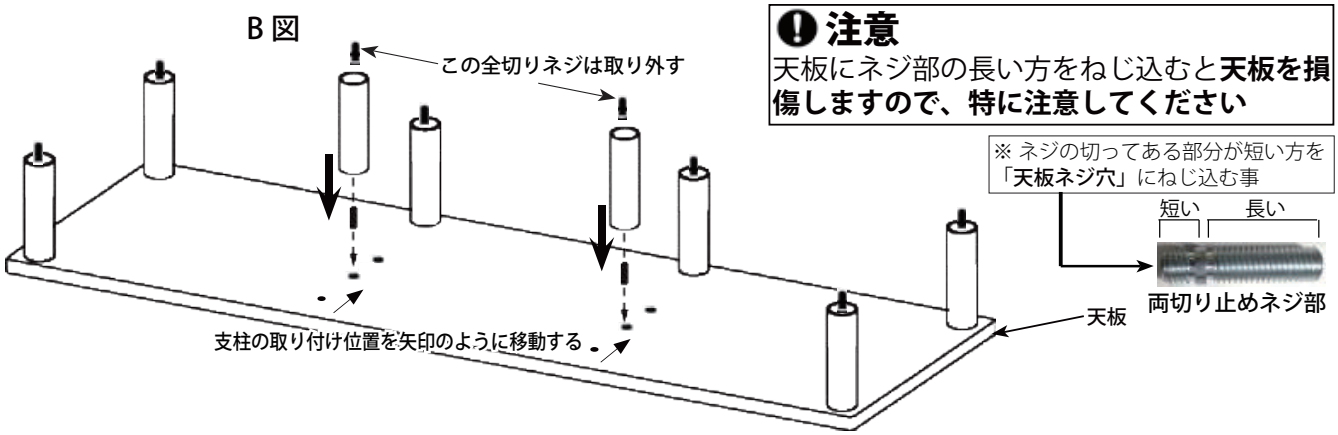
センタースピーカー用支柱の移動手順

① 前列中央の支柱を天板から取り外し、支柱についている全切りネジを取り外します。（このネジは今後はここでは使用しませんので、保管しておいてください。）

② 中央支柱の移動する位置の天板のネジ穴に、両切り止めネジのネジ切りの**短いほう**をねじ込みます。

③ 移動した両切り止めネジのネジ切りの**長いほう**に支柱をねじ込みます。

※ 支柱を移動した際は、中央の支柱は天板側のみネジ止めします。棚板には固定しません。

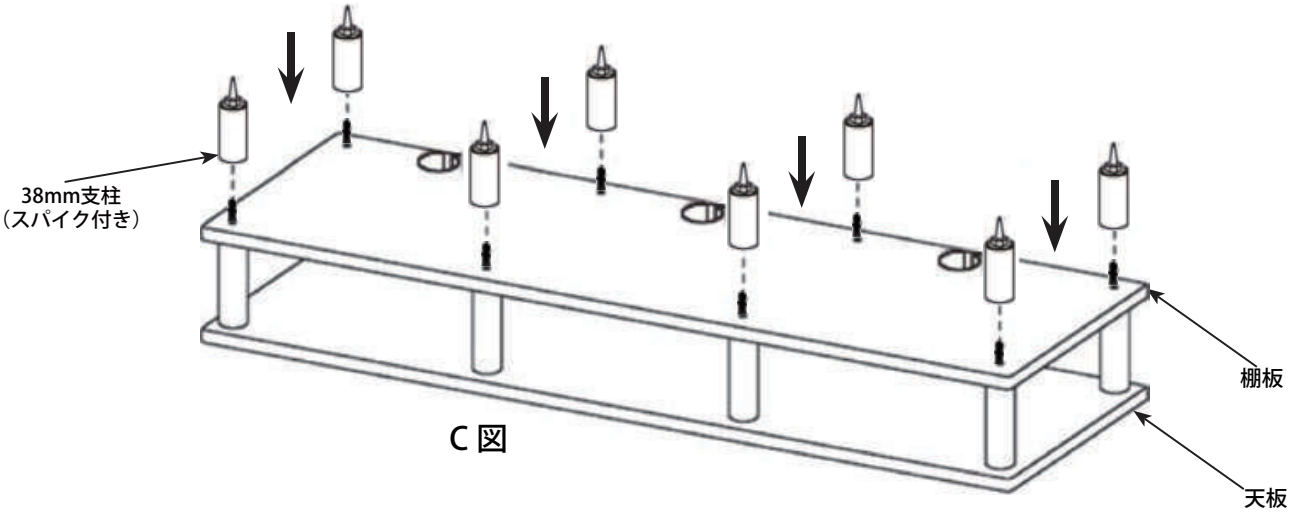


❗注意
天板にネジ部の長い方をねじ込むと**天板を損傷しますので、特に注意してください**

❗注意　支柱をねじ込みすぎると天板に傷がつきますので注意してください

（5）棚板を取り出して上下を逆にして、前項（4）で取り付けた８本の 280mm 支柱から出ているネジを、棚板のネジ穴に貫通させながら配置します。

（6）38mm 支柱（スパイク付き）を取りだし、棚板から飛び出ているネジ部分に C 図のようにねじ込んで、棚板を固定します。



C 図

注意　支柱をねじ込みすぎると棚板に傷がつきますので注意してください

※　センタースピーカー用に前列中央の支柱を移動した場合には、そのままでは 38mm 支柱が付けられませんので下記①～③を参照してネジと 38mm 支柱（スパイク付き）を取り付けてください。

① 上記（6）で棚板を取り付けた後、下記(a) 頭付ネジと（b）頭付ネジ用ワッシャーを前列中央の支柱があったネジ穴に下から差し込み38mm支柱（スパイク付き）をねじ込みます。

② (a) 頭付ネジは六角レンチを使い締め付けてください。

③ 最後に(a) 頭付ネジの頭部分を（c）化粧キャップで隠します。

(a) 頭付ネジ

（b）頭付ネジ用ワッシャー

（c）化粧キャップ

（7）組み立ての終わった AV200 の上下を逆にして、天板を上方にし、スパイク受けをスパイクの下に置いて床面を保護してください。

（8）なお、スパイクの代わりにオプションのキャスター（CA60) を取り付ける事も出来ます。必要な場合は販売店でお求めください。

オプションのキャスター（CA60)
https://www.network-jpn.com/spike/

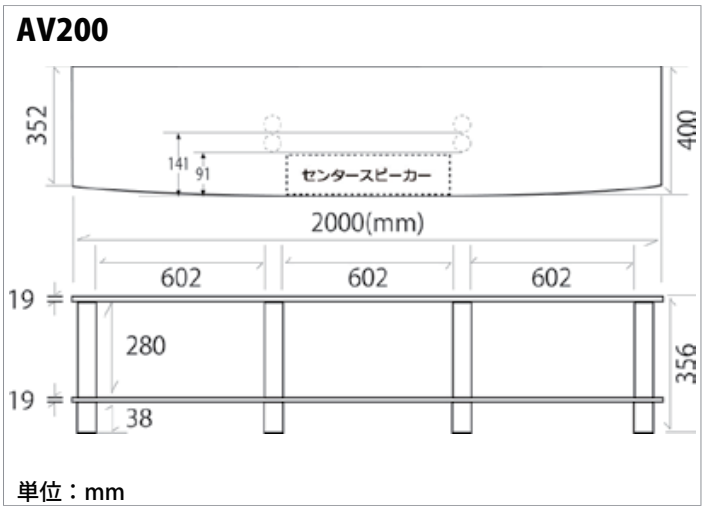
注意
このラックの棚の高さは、オプションを使って支柱の変更や棚板の追加は可能ですが、強度確保のため 38mm の支柱は必ず C 図のように最下段、いわゆる脚の部分にご使用ください

3　部品表

A V200　部　品　表	数　量
①　天板	1
②　棚板	1
④　両切り止めネジ	8
⑥　支柱　280mm（全切りネジ付き）	8
⑦　支柱　38mm　（スパイク付き）	8
⑧　スパイク受け	8
⑨　13mmスパナ	1
⑩　10mmスパナ	1
⑪　六角レンチ	1
⑫　SOUND MAGICネームプレート	1
⑬　頭付ネジおよびワッシャー（a）（b）	各2
⑭　化粧キャップ（c）	2

AV200 耐荷重	**天板：120kg（棚当り）**
	棚板：150kg（棚当り）

4　外観図



お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ　Sound Magic　製造・発売元

NETWORK JAPAN

〒557-0045　大阪市西成区玉出西２丁目 16-3
ネットワークジャパン株式会社　TEL 06-6105-0707 / FAX 06-6105-0708
https://www.network-jpn.com/　E-mail : info@network-jpn.com
https://www.network-jpn.com/av200-series/